

(11)

非鉄

(第3種郵便物認可)



特殊銅合金メーカーの大和合金(本社=東京都)

新社長登場 New President

板橋区)の3代目社長にこのほど就任した。認定が厳しい航空機分野や国際研究機関の最先端施設にも採用される高い技術力を、さらに幅広いユーザーへ発信していくことに意気込みを見せる。

初代社長の萩野茂氏は、アルミ青銅のパイオニア。付加価値が高い特殊合金に特化した企業スタイルは、創業から変わらぬ。クロム銅、アルミ青銅、ベリリウム銅、コルソン合金、高力黄銅を合わせると、販売重量の9割以上を占める。

開発力は、同社の企業価値そのもの。このため、他社が避けるような難しい仕事も喜んで引き受ける。自身は大学で有機化学を学び、入社した花王では洗剤や柔軟剤の研究で成果を残した。しかし、

合金の「開発」と「技術」への思いは、しっかりと受け継いでいく。今後は「視野を広げて能動的に顧客を増やしていくことに一段と努力していくかなくてはならない」とも考えている。知的財産の適切な管理や、マーケティングも重要な経営テーマに掲げる。

(田島 義史)

技術力、幅広く発信

る。開発テーマは年間で80件前後に上り、このうち国や研究機関に関する案件が5-10件ある。合金開発の依頼では、いきなり100点もの家業を継ぐことを決心して30歳の節目に入社。金厲への知見が足りないと思えば、40歳に差し掛かっただけでも驚く間を惜しんで勉強し、金属材料の博士課程を修了する努力家だ。

社長に就任し、先代と先々代が築いてきた大和身。▽萩野源次郎(はぎのげんじろう)氏(94年上智大院理工学研究科修了、花王入社。99年大和合金入社、10年宇都宮大院博士課程修了、13年社長。遠慮することの後悔したくないとの思いから「おせっかい精神」をモットーにする。68年11月8日生まれ、東京都出身。

大和合金

萩野源次郎氏